

基本施策

防災

◆現況と課題

- 東日本大震災以降も全国各地で大規模な地震が発生しているにもかかわらず、市民の半数以上が備蓄や家具の転倒防止など災害の備えをしていません。市民一人ひとりに災害への備えの重要性を認識してもらう必要があります。
- 若者世代の防災意識が低い傾向にあります。効果的な啓発活動を実施することで若者世代の防災意識の醸成を図る必要があります。
- 大規模な災害が発生した場合、行政の取り組みだけではすべての市民を守ることはできません。日頃から地域住民同士で助け合える関係性を築く必要があります。
- 南海トラフ巨大地震の発生が危惧されています。震災後、早期に復旧・復興対策を進めるためにも、民間企業等との連携を図る必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

市民自らが災害に備えるとともに、地域住民がお互いに顔の見える関係を構築することで、地域が一体となって災害に対応できるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
自然災害による死傷者数	0	→

◆基本施策の体系

基本施策 防災

展開方向1 市民一人ひとりの防災意識を高めます

展開方向2 地域で支え合う風土を醸成します

展開方向3 災害時に迅速に対応できる体制を強化します

◆展開方向1：市民一人ひとりの防災意識を高めます

【目標】

- 災害への備えをしている市民を増やします。
- 防災情報メールの登録者数を増やします。

【手段】

- 防災訓練時や広報、SNSなどあらゆる機会を通じて、日頃から災害に備えておく重要性を発信します。
- 防災訓練等において、防災情報メール登録啓発コーナーの設置や登録用チラシの配布を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
家具の固定や転倒防止をしている市民の割合	43.3%	↑
防災情報メールを登録している市民の数	7,237人	↑

◆展開方向2：地域で支え合う風土を醸成します

【目標】

- 多くの市民が防災訓練に参加することで、地域住民同士、顔の見える関係を構築します。
- 地域防災の担い手となる人材を育成するための機会を創出します。

【手段】

- 地域住民が防災訓練に気軽に参加できるような訓練内容に見直します。
- 地域防災の担い手を養成するための講座を開催するとともに、将来の地域防災の担い手となる小中学生への防災啓発を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
防災訓練の参加者数	9,176人	↑
養成講座の受講者数	29人	↑

◆展開方向3：災害時に迅速に対応できる体制を強化します

【目標】

- 災害時に適切な復旧・復興対策を講じることができる体制を整えます。

【手段】

- 震災事例から課題となった物資等の不足を補うため、民間企業等との協定締結を進めます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
民間企業との協定締結数	1件	↑

基本施策

生活安全

◆現況と課題

- 高齢化の進展により、高齢者が被害者や加害者となる交通事故が増加しています。高齢者に対する交通安全啓発活動を行う必要があります。
- 健康志向や環境対策の意識向上による自転車利用者の増加に伴い、自転車事故が増加しています。被害者だけでなく、自らが加害者とならないための交通マナーの向上を図る必要があります。
- 自転車盗や住宅への侵入盗など身近な犯罪が多発しています。だれもが犯罪被害に遭う可能性があるという意識啓発とともに、地域ぐるみで防犯対策を行う必要があります。
- 高齢者の消費者トラブルの相談が上位を占めています。また、成人年齢が引き下げられるため若者世代にも消費者教育を行い、消費者トラブルを防止するための情報発信を幅広い年齢層に対して実施する必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

交通事故や犯罪、消費者トラブルに巻き込まれることなく、すべての市民が安全で安心して暮らせるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
交通事故発生率	4.9 件/千人	↓
犯罪発生率	10.9 件/千人	↓

◆基本施策の体系



◆展開方向1：交通安全意識と交通マナーを高めます

【目標】

- 自動車や自転車利用者の交通マナーの向上を図ります。

【手段】

- 出前講座や街頭における啓発及び市内企業に協力を依頼します。
- ライトオン運動（夕暮れ時の前照灯早めの点灯）やハイビームの有効活用等を啓発します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
夕暮れ時の前照灯早め点灯率	4.5%	↑
啓発活動等参加企業数		↑

◆展開方向2：犯罪を防ぐ地域の防犯力を高めます

【目標】

- 防犯意識の向上と地域による防犯体制を強化します。

【手段】

- 出前講座や街頭における啓発をします。
- 各防犯パトロール団体の活動費用の補助や取り組み例の報告の場を設けます。
- 地域と連携して、必要な場所に防犯灯や防犯カメラの設置を促進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
防犯パトロール団体数	84 団体	↑
自転車の施錠率		↑

◆展開方向3：安心して相談できる環境を整えます

【目標】

- 年代に関係なく困ったときにすぐに相談できる体制を整えます。

【手段】

- 各種媒体を通じて、消費生活センターを積極的にPRします。
- 学校へのお出前講座により、20歳未満の若年者に対し消費者教育を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
高齢者などへのお出前講座の実施件数	7 件	↑
若年者（20歳未満）へのお出前講座の実施件数		↑

基本施策

消防・救急

◆現況と課題

- 火災による死者数のうち、最も多いのは建物火災です。火災予防の意識向上と住宅用火災警報器の普及啓発を進める必要があります。
- 大規模地震が発生した場合、消火栓が使用できなくなるおそれがあります。消防水利を確保するため、耐震性の防火水槽を計画的に整備する必要があります。
- 救命の現場では、その場に居合わせた市民による応急手当が救命の鍵となります。多くの市民に救命講習等に参加いただき、応急手当の普及を図る必要があります。
- 災害時には地域での連携が重要です。消防団や自主防災会など地域を支える組織を強化する必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

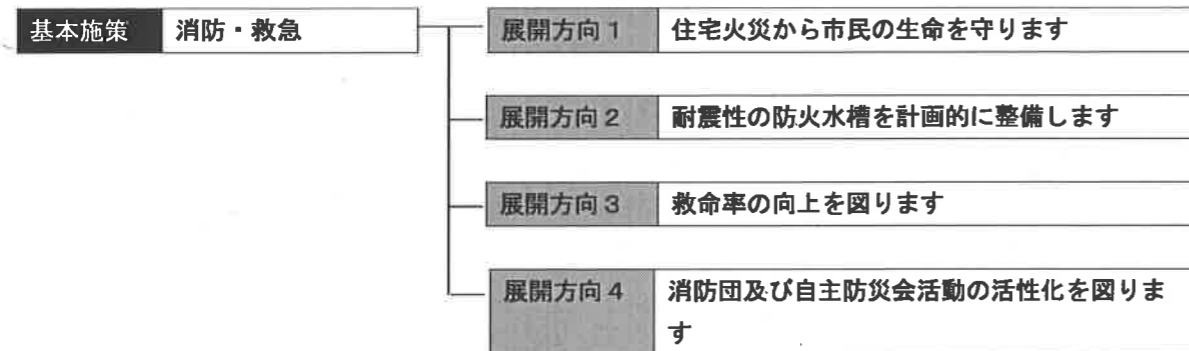
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

消防・救急体制及び防火安全対策を強化し、災害や事故から市民の生命、身体および財産を守ることができるまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
住宅火災による死者数（放火自殺者を除く）	0	→
建物火災の発生件数	24	↓
救命率	8.5%	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：住宅火災から市民の生命を守ります

【目標】

- 住宅用火災警報器の設置率を向上します。

【手段】

- 住宅用火災警報器の普及啓発を進めます。
- 消防職員が一般家庭を訪問し、住宅用火災警報器が適正に設置されているか確認します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
住宅用火災警報器の設置率	75.7%	↑

◆展開方向2：耐震性の防火水槽を計画的に整備します

【目標】

- 大規模地震時にも使用できる消防水利を計画的に整備します。

【手段】

- 新設公園に耐震性の防火水槽を設置するとともに、老朽化した防火水槽を耐震性に改修します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
耐震性の防火水槽の割合	39.2%	↑

◆展開方向3：救命率の向上を図ります

【目標】

- 救命の現場で、胸骨圧迫及びAEDを使用できる市民を増やします。

【手段】

- 定期的に救命講習会を開催するとともに、各種団体からの開催要望に応えます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
心肺停止傷病者に対する市民の応急手当実施率	68.8%	↑

◆展開方向4：消防団及び自主防災会活動の活性化を図ります

【目標】

- 避難所の設営及び運営ができる地区を増やします。
- 年齢、性別、国籍に関わらず、多くの市民に小学校区単位の地区防災訓練参加を促します。

【手段】

- 地区防災訓練等において、地域に密着する消防団が指導します。
- 若者世代の小学校区単位の地区防災訓練への参加を促します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
地区防災訓練において避難所の設営・運営訓練に取り組んだ組織の割合	37.5%	↑
地区防災訓練に参加した20歳未満の割合		↑

基本施策

環境

◆現況と課題

- パリ協定による日本の温室効果ガス排出量の削減目標は、2030年度までに2013年度比26%削減となっています。効率的なエネルギーの使い方、省エネルギーの方法を周知するなど、環境意識を高めるとともに、再生可能エネルギーの普及を促進する必要があります。
- 小牧市東部の豊かな里山環境が、利活用の減少や自然環境意識の希薄化等により失われつつあります。自然体験学習や環境保全活動を通じて、自然環境意識を高める必要があります。
- 内陸工業都市として発展した市内においては、事業所が多数操業しています。排気ガスや排水等による地域環境への影響を軽減する必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

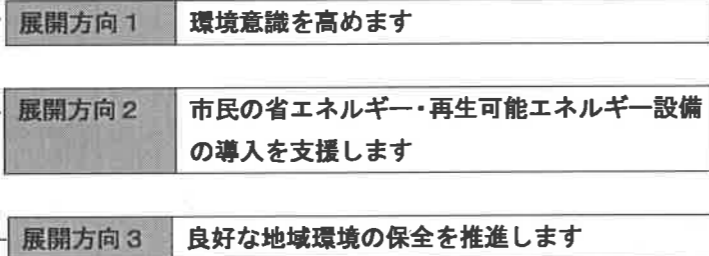
再生可能エネルギーの利用促進や温室効果ガス排出量の削減により、大気や水など身近な地域環境を良好な状態に保持し、快適で住みやすいまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
温室効果ガス排出量	1,939千t-CO2	↓
大気汚染に係る環境基準達成率	75%	↑
水質汚濁に係る環境基準達成率	100%	→

◆基本施策の体系

基本施策 環境



◆展開方向1：環境意識を高めます

【目標】

- 日頃から環境にやさしい取り組みをしている市民を増やします。

【手段】

- 市民環境講座など環境学習の内容を充実します。
- 子どもたちを対象にした水生生物調査、自然観察会を開催します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
小中学生の環境にやさしい生活の達成率（エコライフチェックシート）	69.4%	↑

◆展開方向2：市民の省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入を支援します

【目標】

- 省エネルギーや再生可能エネルギー設備の普及促進を図ります。

【手段】

- 省エネルギーや再生可能エネルギー設備を導入した市民に対する補助を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
地球温暖化対策設備の設置補助件数		↑

◆展開方向3：良好な地域環境の保全を推進します

【目標】

- 大気や水、土壌などの地域環境の良好な状態を保持します。

【手段】

- 大気汚染や水質汚濁、土壌汚染などの監視測定を行い、その結果に基づき事業所指導を行います。
- 地球環境に著しく影響を与える可能性のある事業者と環境保全協定を締結します。
- 水質改善に寄与する合併処理浄化槽を導入する市民に導入費を補助します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
汚水処理人口普及率	80.7%	↑

基本施策

ごみ対策

◆現況と課題

- 家庭や事業所から排出されるごみには、減量又はリサイクルできるものが多量に混入しています。ごみの減量の啓発と資源の分別の周知を図るとともに、資源を排出しやすい環境の整備が必要です。
- ごみ出しルールを守らないことで、地域のごみ集積場に回収されないごみが発生しています。ごみ出しルールの遵守を徹底する必要があります。
- ポイ捨てや粗大ごみの不法投棄により、地域の環境衛生が悪化しています。不法投棄防止対策を徹底するとともに、地域住民や事業者の環境美化活動を推進する必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

市民・事業者との適切な役割分担のもと、協働で資源循環型社会を構築するとともに、ごみのポイ捨てなどが無い快適で清潔なまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
回収した不法投棄のごみの量	45,870 kg	↓
1人1日あたりのごみの排出量	564 g	↓

◆基本施策の体系



◆展開方向1：市民・事業者・行政の協働による3Rを推進します

【目標】

- 市民・事業者・行政との協働による3Rの取り組みを推進し、ごみの減量化、再資源化率を高めます。

【手段】

- 生ごみの減量の啓発や、古紙類や剪定枝類等の再資源化を推進します。
- 地域による自主的な資源回収活動を支援します。
- 民間の資源回収場所や再資源化施設の設置を促進します。
- ごみの排出が困難な世帯の排出を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
再資源化率	35.6%	↑
資源として処理された剪定枝類の量（事業系含む）	3,255.945 t	↑
こまやか収集実施世帯数	155 世帯	↑

◆展開方向2：ごみの排出ルールを徹底します

【目標】

- ごみ集積場での期日外排出や分別不良ごみをなくし、清潔の保持を図ります。

【手段】

- あらゆる媒体を通じてごみ出しルールの周知を図ります。
- ごみ集積場での管理を徹底し、不適切なごみが排出された時には早期に回収、指導を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
特別収集の受付件数	399 件	↓
ごみ集積場整備の補助件数	35 件	↑

◆展開方向3：地域の環境美化を推進します

【目標】

- 快適で清潔な生活環境を保持するため、地域の美化を推進します。

【手段】

- ポイ捨てや粗大ごみの不法投棄に対する意識啓発及び防止対策を徹底します。
- 地区の大掃除、アダプトプログラムやクリーンアップ事業など、市民の自主的な環境美化活動を支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
クリーンアップ事業参加者数	90,043 人	↑

基本施策

シティプロモーション

◆現況と課題

- 近隣市町には、犬山城やあいち航空ミュージアム等の魅力のある観光資源があります。これらの観光資源と小牧山の結びつきを強化するなど、観光の振興が必要です。
- 小牧市が主催するイベントやまつりに対する市民の満足度は横ばい傾向です。新たな企画を加えることでマンネリ化を防止するなど、魅力あるイベントやまつりにしていく必要があります。
- 小牧市には多くの外国人市民が住んでいますが、普段から外国人市民と接している日本人市民の割合は低い傾向にあります。国籍や文化、言語等の違いにとらわれず、お互いに理解しあう必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

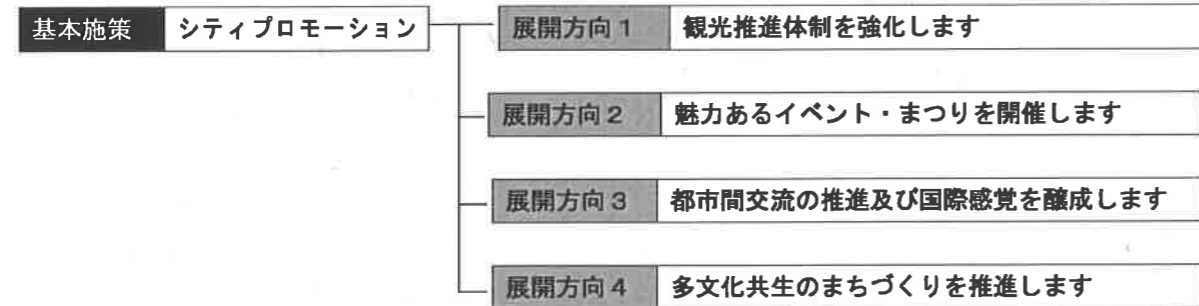
【基本施策の目的：目指すまちの姿】

さまざまな地域資源を活用し、ブランド力を高めるとともに、魅力を市内外に発信することにより、「訪れたいまち」「住みたいまち」「住み続けたいまち」をめざします。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
交流人口	1,697,292人	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：観光推進体制を強化します

【目標】

- 小牧山を核とした観光・誘客を図ることで来訪者を増やします。

【手段】

- 近隣市町の観光資源と小牧山を結び付けた観光情報発信や新たなツアーを企画します。
- スマートフォンアプリによるフォトスポットや観光案内を実施します。
- お土産の商品・販売機会を充実します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
小牧山の施設来場者数及びイベント参加者数（人）		↑

◆展開方向2：魅力あるイベント・まつりを開催します

【目標】

- 市民まつりの魅力を向上することで来場者または参加者を増やします。
- 小牧夏まつりを新たな小牧市のまつりとして定着させます。

【手段】

- 市民やまつりの参加団体等から、アイデア、改善案を募集し、まつりに反映します。
- 新たな夏まつりの魅力を積極的にPRします。
- 小牧夏まつりの総踊りを、小牧オリジナルの踊りとして広く浸透させます。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
市民まつりに来場、または参加した市民の割合		↑
小牧夏まつりに来場、または参加した市民の割合		↑

◆展開方向3：都市間交流の推進及び国際感覚を醸成します

【目標】

- 児童・生徒を中心とした姉妹都市、友好都市との交流機会を増やします。
- 国際的な相互理解や異なる地域との友好親善を深めます。

【手段】

- 派遣・受入れによる直接交流や絵画等の文化交流などの交流の機会を増やします。
- 市民による姉妹都市・友好都市との交流に対する助成金制度の利用を促進します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
都市間交流人数（人）		↑
助成金交付実績（人）		↑

◆展開方向4：多文化共生のまちづくりを推進します

【目標】

- 日本人市民と外国人市民が、交流を深め、お互いに理解し、支え合い協力する関係を築きます。

【手段】

- 多文化共生に関する講座等の開催により、日本人市民と外国人市民が交流できる機会を提供します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
市や国際交流協会が開催する多文化共生に関する講座などの開催回数（回）	28回	↑

基本施策

農業

◆現況と課題

- 農業者の高齢化や後継者不足等により、耕作放棄地が増加しているとともに、将来を担う農業者が減少しています。新たな担い手の確保及び担い手に農地を集積・集約していく必要があります。
- 安全・安心な農産物の提供、魅力ある地元農産物の普及啓発、農地が担っている多面的な機能を発揮できるよう、地域ぐるみで農業を支える必要があります。
- 新木津用水路は、水路東側の流域から排水を受けていますが、その排水能力が不足しています。水路を改修し、農地の湛水被害軽減を図る必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

市民の農業に対する理解を深めるとともに、安定した農業経営と農業生産基盤が維持されたまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
意欲・能力のある農業者（担い手）へ貸し出した農地面積割合	6.5%	↑
耕作放棄地の面積	62ha	↓
鳥獣による農作物被害額	1,901 千円	↓

◆基本施策の体系



◆展開方向1：農業経営の安定化を支援します

【目標】

- 地域農業の担い手を育成・確保します。

【手段】

- 新規農業就業者、認定農業者に対して補助及び融資制度について情報提供します。
- 栽培技術を学ぶ農業体験を通して新規農業就業者を確保します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
新規農業就業者数	2人	↑
認定農業者数	25人	↑
農業体験事業への参加者数	17人	↑

◆展開方向2：農地利用の最適化を推進します

【目標】

- 農地の貸出希望者と借受希望者のマッチングを図ります。

【手段】

- 農業委員、農地利用最適化推進委員及び農協と連携しながら、農地の貸出希望者の発掘を行います。
- 農地の貸出希望者に対して、農地中間管理機構を介した貸し出しを支援します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
農地中間管理機構への貸出希望件数	1件	↑

◆展開方向3：農業にふれあえる機会を充実します

【目標】

- 身近な農産物の栽培に親しみを感じ、さらに地元農産物にふれあえる場の充実を図ります。

【手段】

- いきいきこまき、市民まつりなどのイベントで地元農産物の魅力の発信に取り組みます。
- 身近な農産物を楽しみながら栽培できる機会を提供します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
藤島市民菜園の利用者数	125人	↑
池之内市民菜園の利用者数	46人	↑

◆展開方向4：農業生産基盤の整備を推進します

【目標】

- 新木津用水路の改修工事を促進します。

【手段】

- 国営総合農地防災事業新濃尾二期地区の計画に基づき事業主体である国と連携しながら、工事を実施する地元区の理解を得るため工事説明会等の調整を行います。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
新木津用水路改修工事の進捗率（小牧市内）	16.3%	↑

基本施策

商工業

◆現況と課題

- 小牧市は陸空の要衝として機能しており、名古屋を拠点とする関連企業に近い立地条件を備えていることから、新規立地に高い優位性を備えています。引き続き、市内企業の事業規模拡大や市外から新たに企業を呼び込むための取り組みを進める必要があります。
- 人材確保が困難なことから、事業所数は減少傾向であり、中でも従業者4人未満の事業所が大幅に減少しています。事業所の採用活動と市民の求職活動双方への支援が必要です。
- 強固な産業基盤を構築するには、バランスの良い産業集積を目指す必要があります。

◆基本施策の目的及び状態指標

【基本施策の目的：目指すまちの姿】

市内企業の流出防止とともに市外から多くの企業を呼び込み、将来にわたり持続可能なバランスのとれた足腰の強い産業構造のまちを目指します。

【まちの状態を表す指標】

指標名	基準値	目指す方向
市内総生産額	970,200 百万円	↑
従業者数	52,120 人	↑

◆基本施策の体系



◆展開方向1：企業誘致と操業環境の改善を進めます

【目標】

- 企業誘致や投資を促進します。

【手段】

- 企業訪問により、今後の設備投資計画等の情報収集を図ります。
- 民有地の活用等により、工業用地を創出します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
企業訪問件数	200 件	↑

◆展開方向2：既存事業所の経営を支援します

【目標】

- 中小企業への支援を充実します。

【手段】

- 「こまき新産業振興センター」を中心に、成長産業への参入や新事業展開の促進を促します。
- 既存の中小企業に対して経営基盤の安定化に関する補助制度の活用を促します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
「こまき新産業振興センター」における支援企業数		↑
既存企業に対する各種補助件数	973 件	↑

◆展開方向3：起業、創業希望者を支援します

【目標】

- 市内で新たに起業、創業する人を増やします。

【手段】

- 起業、創業希望者のニーズに対応したセミナーを開催します。
- 起業、創業に関する補助制度の活用を促します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
起業（創業）者数	4 人	↑
起業・創業者に対する各種補助件数	58 件	↑

◆展開方向4：採用活動と求職活動を支援します

【目標】

- 事業所の採用活動と市民の求職活動をマッチングして、就職者数を増やします。

【手段】

- 採用活動に対する補助制度を創設します。
- 商工会議所と連携して就職フェア等のマッチングの機会を創出します。

【展開方向の進捗状況を測定するための指標】

指標名	基準値	目指す方向
市の施策を通じて就職した人数	12 人	↑